



佐賀大学教職大学院

2022年
12月号

院生ライフレポート



2022年がもうすぐ終わります。大学院に入学し、昨年とは違った環境で必死に取り組みながら、この9か月間で成長できたことや楽しめたことも多かったように感じます。現職教員とストレートマスターがともに学ぶ授業はとて素晴らしい時間になりました。クリスマス、年末年始にしっかり充電して、学びある一年のスタートを切りたいですね。

コースの仲間と写真撮影

今年の4月から共に学び支え合った仲間たちと、コースごとの集合写真を撮りました。
来年も笑顔で頑張りましょう 😊

教育経営



子ども支援



授業実践



～佐賀県教育フェスタに参加しました～

12月17日（土）、授業実践探究コースの1年生を中心に、佐賀県教育フェスタに参加しました。高校生ICT活用プレゼンテーション大会の発表では、高校生の社会や地域にある課題解決に取り組む姿に感銘を受けるとともに、学校現場での実践を知る良い機会となりました。学校現場に出た時に、生徒が自ら問題意識を持ち、自分達で主体的に解決していく力を身に付けさせていきたいと思いました。



～Mさんのつぶやき～

12月12日に2022年の世相を表す漢字が「戦」と発表されました。院生の皆さんの今年1年は、どのような漢字で表すことができるのでしょうか。これまでの生活スタイルが「変」わったでしょうし、新たなことをたくさん「学」ぶことができた1年であったのではないのでしょうか。

私たちは、自分の思い通りにいかないことがあると、その状況を変えようとして必死に「戦」うことがあります。そしてその状況をなかなか変えることができず自分の無力さを悩むことがあります。もちろん、ファイティングポーズをとって「戦」わなければならないこともあるとは思いますが、ときには、拳を緩め、手を差し伸べたり、手をとり合ったりすることができるような心の余裕は持ちつつきたいものです。